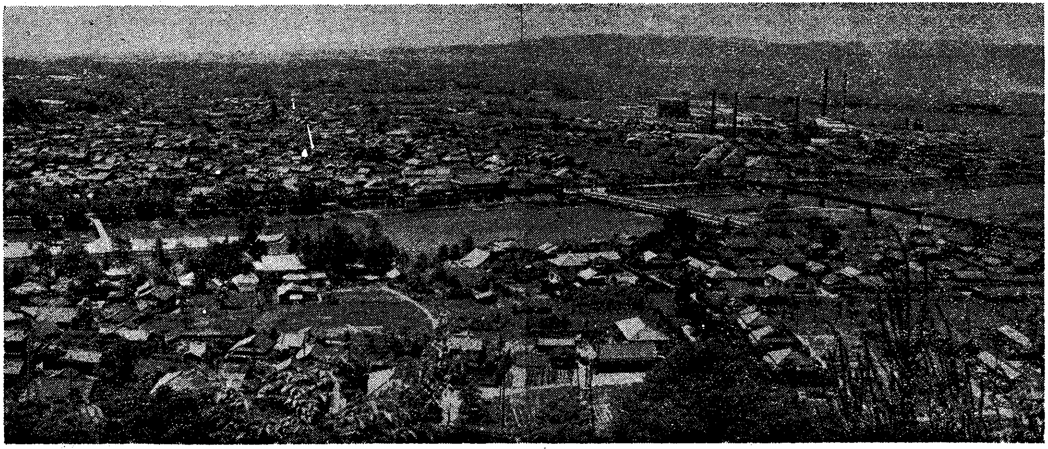


悠久の成長へ！

大地が母であれば、川はその血脈である。人間のその遠い親たちから流れて尽きぬ愛の動脈、そこに高らかに文化はきづかれた、伸びゆく宇治、その宇治川は今年も花がたである！

宇治市政
宇治市機関
発行所　宇治市役所
京都府宇治市宇治妙楽160の1
発行人　奥山政一

去年から今年へ

市民は新らしい希望を大きい目で

池本市長

近頃ゆらぐという言葉が流行している、新年三ケ日の天気が三日三様であつた、元旦は冷厳な冷え込みで清浄な大晴れ、二日は小雨の暖かく、三日は粉雪ちらつき雲南行の後ち晴れ、これらをゆらぎとゆうのはちとこぢつけかも知れない。然し本当のゆらぎといえるものは、ラジオで各人各様の新年の詞が殆んど例外なく宇宙時代、ヤレ人工衛星を口にしている一方に、昔ながらの今年は戌どしだと、犬の講釈記事や画壇巨匠の犬の画が沢山に出ていて五代の犬公方でも呼起して来たら、さぞ御満悦を思わしめたもの、まだある、両岸宰相の存立など。これらは先づ／＼ゆらぎの内に数えてよいものであらう。

このゆらぎを移して以て、わが宇治市政に当てはめると、矢張りこれに似たものがある。去年は随分宇治には仕合せな年だつたと私は思つている。先づ新年早々天ケ瀬ダムの予算決定の蓋明け、三月には待望の鳳凰堂大修理落慶の奉賛行事から、果然参観遊覧人の日毎の殺到で、何といつても街は活況をつゞけた。これを機会に宇治橋修理、県通り補装、川畔景勝の地への無料休憩所建設、小さいのでは従来立ち腐れだつた電気時計塔の復元、遅れたが晩秋には大衆茶室も新築が成つた、これらに市費千万円そこ／＼が出ている。これらでその裏付けが財政再建計画の喜ぶべき効果であることを再認識することだ。

さてこの勢に乗つて、引続き三十二年度予算は当市初の計画ある積極的予算への展開を見せ随分と事業を組んだ。その著例は西宇治中、莵道第二小、宇治中三校の同時増改築でこれに四千万円、大久保小と火葬場の移転改築計画に七百万円、都市計画事業の新発足、大久保地区水道新設一千万円、それにこれ又小さいが従来無電燈だつた尖山地区への電燈点火等々、これらへの補助起債の獲得、単費捻出にはそれ／＼の担当者は随分と骨を折つて呉れた、かれこれで建設事業費の総予算中に占める割合は三割を超え全国率に退けを取らない迄に上り、われ／＼としてはホツト一呼吸という処であつただのにさて／＼これでも部分／＼を捉えての絶えま無いお小言頂戴にはいさゝかウンザリというのが偽らぬ心境で、これこそがゆらぐ心というのであらう。

そこでわれ／＼市当路もこの上共至らぬ処に自ら反省を加えよう、同時に願くは市民諸君、諸君も亦眼前の枝葉より大局に外に出来るだけ大きい広い眼を開いて、深い理解と尊い協力を与えられる様お願いしたいのが去年への回顧である。

さて新年も亦わが宇治市に幸いの扉が大きく開かれているのではないかと思われる。市自体の仕事としては、引続くものが沢山残つて居り、この第一は絶対的な学校改築、それに出来ればやりたい市庁舎や所謂綜合会館やの新建設其他である。それらの前后軽重は素より唯今約束は出来ないが、何れ機会に臨んで検討を重ね実現への出来るだけの努力をするであらう。外部の然し密切不可分関係にある目標事業として例の天ケ瀬ダム建設の遅滞無い進行と、最近中央より降つて湧いてきた京都を重心とする広域観光圏設定の二問題がそれである。

天ケ瀬ダム建設は、必然的に地方関連事業として市の上水道根本改良、宅地開発、観光産業面の劃期的新施策等を予見せられる最大重要問題である。従つてこれの成功が一日早ければ一日の利益と云える事業だから萬難を排して着々と進行するよう協力しなければならない。

然るに前年来の実情は、巨大な年間割当予算がありながら、これを消化すべき折衝事が遺憾ながら兎角進まない勝ちで、斯くては工事そのものゝ遅延は勿論、更に新年度の国の割当予算額に影響して遅れが倍加する惧れがある、だから勿論関係個人や団体の利害は尊重しなければならないが、全体的な市民、地方の立場として、眼を大きく出来る限りこれが進行に協力しなければならないことを強調する。

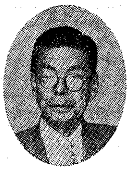
近畿観光圏の設定は、当地はその中央に位置して願うても無い結構な構想である。これへの中央の企画は、まだ年額十億円五ケ年計画で五十億円といゝ、又事務当局案としては年額三億円とも伝えて、勿論今の処踏み出した許りの問題ではあるが、何れにせよ既に閣議決定事項にもなつたようであるから、事の大小は別として先づは間違いない問題と受取られる。之に関係する当地構想として連結道路が第一で、而してそれは京都との結び付きであらうと思う。

何れにせよ既に年末四都市首脳者協議会で近畿観光圏建設協議会なるものが結成せられ、新年近日中に各専問技術者の打合せ会が開かれ進行を計ることになつている。

以上の如く当市としては内外極めて多事而して多幸が想見せられる、光明の扉は正に開かれんとしているのである。之に対処する所以の途はお題目の空論や、黄色い声の口頭禅や、目先寸尺の立場論で、折角の扉を自分で閉込むようなことの無いよう、折角の芽立ちを自ら枯らさぬよう、よく／＼考え高所より大きい活眼を開いて、ゆるぎ無く大地を踏みしめ／＼進みたいと思う（一、五）

新らしい期待を

宇治市議会議長　和田寅久



昭和三十三年の新春を迎えて御祝詞を申上げます。

元旦になりますと、今年こそはと何か期待をかける気分が湧いて来るが、扨て一年経つて仕舞うと何をやつたかまとまりがつかない様な年があつたと思う、そこで市民の皆さんと一つ大きく深呼吸をして、足を大地に踏みつけて考えて見たい。

今宇治市では、世紀の大事業として、天ケ瀬ダムが国営によつて行われている、この事業は淀川水系の治水が目的であるが、一番恩恵を受けるのはダム建設地の宇治市である。アーチ式のダムができると、宇治市の観光は一段と飛躍し、天下の名勝地となることが想像される、このダムによつて、綜合開発も考えねばならない、水利権の確保によつて水上道の水源であり、灌漑用水も考えられる、この時期を見逃して悔を後日に残さぬよう市の理事者も議会の議員も、一体となつて真剣に取組まなければならない。こうした意味で、対策協議会が結成され今後の活躍に備えていることは喜ばしい。

終戦後十有余年を経た今日では、世相も漸く落着いてきた、市民の福祉の為に限りない要求がでてくる、陳情、請願数限りなく何れを見ても皆御尤なことで、きれば全部応じたいが、議会は審議機関であつて、執行権がない、併し熱心な議員諸公は機会ある毎に市民の声を議会に反映し真剣に取組んで決して粗略に扱つていないことを御諒承願いたい。自治体は、市長の物でも、議会の物でもない、四万市民の公共団体であるから市民の声をよく聞いて、市政に織り込んで行われねばならない、市政を円滑に遂行するためには、執行者と議会とが車の両輪の如くバランスを取らなければならない、どちらが強くても、弱くても健全な市政は成立しない、今年は特にこうした点を留意したいと思つている。

最後に市民の皆さんと相談がある、志は総て大きく持たなければならないが、足元にも細心の注意をしなければならない、公共施設は総て市民の税金で造られるものである、切なる要望によつてできた外燈の電球がなくなつたり、こわされたり折角できた建物に落書されたり、植えた樹木が折られたりすることがある、これらのことは小さいが、宇治市には大きな建物が沢山ある学校、庁舎、公民館、公会堂等の管理も細心の注意によつて、不可抗力も免れることもある、管理者も市民も総ての注意によつて、市民の財産を守り明るい宇治市を築きたい。

市営結婚

挙式料かわる

市営結婚は、開始以来満二ケ年を経て益々利用者が増加している。市では、昨年十月二十日これら市営結婚で結ばれた方々の懇談会での希望もあり、施設の増強やその他一層内容の充実を計ることとなり、挙式料を一月一日から一件一、〇〇〇円に改められた。なお、披露宴を行う場合は従前の通り、一件二〇〇円が加算される。

恒例の初出式

初春の宇治川で放水演習

宇治市消防署の初出式は七日午前九時宇治川橋橋島で挙行参加団員三百七十人池本市長、田中団長巡閲、行進の后次の通り表彰を行い講評の後、観流橋と塔の島から一せいに放水演習を行い、多数参観市民を喜ばした。（敬称略）

○功績表彰　村田益三　○勤功表彰　柴田信三　○精績表彰　吉田利喜三　○精勤表彰　中西健一郎、北岡弘次、古川嘉造、堂窪善次　○支部長表彰　和才進川辺康三、上田義一、林福三、辻繁春

○市長表彰　山本孝太郎、大石昌雄、青田宗太郎、田中実、森岡茂小山実、橋本義弘、西村美次

○消防長表彰　浅田昌三、坪田満治、小山実、森下弘志、田中十三造、神田耕司、菅野弘二、奥村宗雄

第三回 追加更正豫算の大綱と

財政再建計画の一部変更

十二月市会の市長説明

一般会計第三回追加更正予算の編成に当つては、本年度当初は財政再建計画の進行に伴つて、幸い市財政の安定が保たれたため、前年度末において積極的政策に転換したが、本年も引続きこの方針をとつてきたのである。その後一般経済界の不況に伴う市民税法人税割の減収が余儀なくされ、また前年度事業費繰越分起債の減額などがあつたので、市財政をこれに適応すべく予算の構成を考慮し、本回の追加更正予算を編成したのである。

従つて歳出における追加については事業費は節減を旨とし、必要なものは追加を認め、新規経費は必要欠くべからざるもの以外は認めず、収入については税収入の確保は勿論、手数料等税外収入の増加に努力する方針をとつた。

これらについて概説すると追加したものは、

新規追加分 一二、二五四千円
既決分追加 二、四七五千円
計 一四、七三〇千円

減額更正したものは、

事業費 一〇、八〇七千円
一般既定経費 二、七五三千円
赤字解消補塡金減 一、九六四千円
計 一五、五二四千円

差引予算上は、九、一一一千円となつたが、昭和三十一年度決算の結果繰上充用金八、三一七千円が当然減額されるためであつて、実質減額は七九三千円である。

減額の主なるものは

災害復旧事業において概算額の計上をしてあつたものが国の査定認証によつて減額したため
六、二四五千円
ジープ購入費減 一、〇〇〇千円
宇治中及び西宇治中学建築費は予算の整理のため減 二、五六一千円
府道宇治瀬田線工事中止による分担金減 九〇〇千円

これは当初府との協議によつて本年度工事予定のところ府の都合により、本年度中止の止むなきに至つたために即応する分担金の減額である。

その他既定経費については、殊更に圧縮を加えなかつたが

市役所庁用需用費節減 七一六千円

他に一時借入金利子が財政調整の円滑化に伴い借入金額の減少により利子減額したこと、及び借入先が民間金融機関から政府機関に変更することができ低利の融資をうけられることになつたための余裕金等合計一、一一二千円が節減できたのである。

新規追加分は必要な人件費及び教育部門における学校の需用費燃料費等をできるだけ増額した。工場誘致奨励金は既設分二、九〇〇千円と今回の分を加えると五、七二四千円となる。此は工場誘致奨励条例に基くもので昨年までは一、五〇〇千円であつたのが追々増加し、尚増設中であるので明年も増加する。これは工場ができる一面財政の重圧を感じ市政面に明闇双方を感じている。

追加分の主なるものは、

職員期末手当の増 四四九千円
職員厚生対策費 二五三千円
個所を限らざる土木費 二〇〇千円
宇治大久保線追加工事 四〇六千円
宇治京都線改良工事分担金 六五八千円
宇治志津川線改良工事 二〇〇千円
平等院通及び宇治橋通道路舗装修繕費分担金 一五〇千円
天ケ瀬ダム対策費 三七六千円
小学校燃料費 一六三千円
小学校一般教材費 二五〇千円
特別学級備品費 一二〇千円
西宇治中学校放送設備 三一〇千円
小中学校幼稚園校舎修繕料追加 一六六千円
社会労働対策費 二三〇千円
民生委員活動委託料 一四二千円
善法地区事業費 九一三千円
炭山林道補助金二、三二二千円
工場誘致に伴う奨励金 二、八二四千円
日レ分過年度市税過誤納還付金 一、九六四千円

最後に収入については、

日レ法人税の減収 五、八五八千円
学校建築国庫補助金減 三、四一八千円
都市計画事業国庫補助金減 二、七〇〇千円

等となつている。此らの減収に対しては地方税法改正による大規模償却資産限度額引上げによる増収 三、三三八千円

市民税個人所得割増収 一、三六三千円
電気ガス税の増収 八二一千円

などが見られ法人市民税の減収がカバーされたことは幸いであつた。

普通交付税の決定による増 一、三一六千円
府補助金の増
炭山林道事業補助金 一、一五〇千円
善法地区道路改良事業補助 四五六千円

起債については

学校建築債 二、二〇〇千円
都市計画事業債 三、〇〇〇千円

火葬場の起債一、四〇〇千円など追加確保の見込みがついた。

宇治中建築、茶室使用等、諸条例可決

十二月定例市会

去る十二月十八日、二十三日及び二十四日の三日間にわたつて十二月定例会が開催され次の各議案を審議した。

一、宇治市職員給与に関する条例の一部を改正する条例（期末手当〇、一五追加）（可決）

一、宇治市議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例（仝右）（可決）

一、宇治市営茶室使用条例（可決）

一、土地寄附受納、道路敷払下げ市道廃止及び市道認定について（一括）（可決）
（五ケ庄梅林地区市道路敷と農地との換地）

一、宇治中建築債四、一〇〇千円菟道二小建築債三、〇〇〇千円過年度土木災害復旧債 一、六〇〇千円以上の起債をするについて（可決）

一、宇治中学校々舎新築工事請負契約の締結（可決）
（鉄筋コンクリート造三階建百二十一坪五、請負金額 金六百三十五万円（朝日建設KK請負）

一、第三回才入才出追加更正予算及び特別会計水道事業歳入歳出第二回追加更正予算（可決）

一、宇治市財政再建計画の一部変更（可決）
（以上いずれも別項記事参照）

一、昭和三十一年度宇治市才入才出決算及び特別会計水道事業才入才出決算認定
（決算特別委員会に附託）

一、宇治市議会規則の一部を改正する規則（議員提案）（可決）

一、宇治市市税条例の一部を改正する条例
本改正は本市財政再建計画に合致するものであるとの総務委員長報告のとおり可決

一、失業者（生活困窮者）日雇労働者に対する生活安定の諸措置方に関する請願中の市民税免除に関する項目の請願については、本項目請願の趣旨に副うところの事項が本市々税条例中に既に規定されているので、特別の措置を講ずるとの結論を得ることは妥当でない、との総務委員長の報告どおり不採択となつた。

一、研修費補助のため追加予算計上についての請願に関しては財政再建下の本市においては、財政的に到底受入れ難くまた、支出根拠にも疑義があるとの委員長報告通り、不採択と決定

一、市営火葬場を権現町に設置されるについて反対請願については、その趣旨は積極的には認められないが地元民の福祉、地域の発展及び学校教育上の考慮等を綜合勘案して考察の余地があると認める教育民生委員長の報告通り、採択と決定。

以上のほか次の諸請願をいずれも所属各委員会に附託した。

一、宇治小学校々舎増改築等についての請願

一、上水道布設に関する請願（神明地区）

一、石塚地区農地所有権移転登記履行方の請願

一、失業者（生活困窮者）日雇労働者に対する生活安定の諸措置（市民税免除に関する項目を除く）方に関する請願を継続審議

一、宇治川両岸観光橋（塔の島附近）架設の請願

市会常任委員かわる

十二月定例市会において、市会常任委員会の委員は次のとおり会議に諮つて議長の指名があつた。

○総務委員会
上林種太郎、藤川正一、金井金一郎、山中登、上田正夫、池本檜三郎

○教育民生委員会
林憲三、小永井勘一、木村甚之助、中村重次、長村源次郎

○産業観光委員会
松下林、太田孝、菅野久三郎、北川兵太郎、和田寅久

○建設委員会
稲田宗太郎、脇田政一、岩井益三、川田平八郎、植村庄三郎、谷口勘一

財政再建計画を一部変更

前年に議決をえた本計画は、いわば骨格であつて今回の変更は肉付であると申すべきものである。

その後の変更は市の財政の実際上の変更である。即ち前述した大規模償却資産課税の増加の反面経済界不況による市民税の減収があつて変化が大きく、また、給与制度の改正により人件費増加八、三一七千円など前述の追加更正予算に伴い変更するものである。

この変更の主眼は、過年度税収分で還付を要する分一、九六五千円相当額及び継続費繰越分の起債減による充当二、一〇〇千円合計四、〇六五千円の財源に充てるため本年度の赤字解消額を減額するものである。財政再建計画による昭和三十一年度赤字解消計画額一五、〇四七千円が実際二〇、三八一千円の解消ができたので、この増加解消分五、三三八千円の内から前記四、〇六五千円を充当するものであつて、なお、昭和三十二年度決算見込において予定解消額を一、二七三千円上廻るものである。

したがつて、基本線である解消年数五ケ年間及び一般基本方針については勿論、変更なく、また後年度分の変更もしていない。

昭和32年度 **徴収実績** 32年12月25日現在

地区	税目	調定額	収入額	未収入額	収入歩合
		円	円	円	%
東宇治	固定資産税	8,658,650	4,645,665	4,012,985	53.7
	府市民税	3,092,260	1,976,308	1,115,952	63.9
	自転車荷車税	477,500	351,410	126,090	73.6
	計	12,228,410	6,973,383	5,255,027	57.0
宇治	固定資産税	10,465,240	5,206,623	5,258,717	49.8
	府市民税	4,093,490	2,510,860	1,582,630	61.3
	自転車荷車税	666,590	453,330	213,260	68.0
	計	15,225,320	8,170,713	7,054,607	53.7
槇島	固定資産税	2,812,400	1,416,060	1,396,340	50.4
	府市民税	497,030	320,420	176,610	64.5
	自転車荷車税	147,140	109,850	37,290	74.7
	計	3,456,570	1,846,330	1,610,240	53.4
小倉	固定資産税	4,684,100	2,757,520	1,926,580	58.9
	府市民税	1,821,730	1,263,100	558,630	69.3
	自転車荷車税	267,140	209,160	57,980	78.3
	計	6,772,970	4,229,780	2,543,190	62.5
大久保	固定資産税	3,191,790	1,445,990	1,745,800	45.3
	府市民税	1,133,140	551,810	581,330	48.7
	自転車荷車税	177,750	121,040	56,710	68.1
	計	4,502,680	2,118,840	2,383,840	47.1
市外	固定資産税	2,838,630	1,597,408	1,241,222	56.3
法人	固定資産税	65,423,140	62,658,270	2,764,870	95.8
	府市民税	7,003,427	6,785,509	217,918	96.9
	計	72,426,567	69,443,779	2,982,788	95.9
特別徴収分	府市民税	16,122,770	13,392,806	2,729,964	83.1
	木材引取税	185,900	93,100	92,800	50.1
	たばこ消費税	7,357,500	7,357,500	0	100.0
	電気ガス税	14,080,472	14,057,883	22,589	99.8
	鉱産税	20,452	18,169	2,283	88.8
小計	固定資産税	98,073,950	79,727,436	18,346,514	81.3
	府市民税	33,763,847	26,800,813	6,963,034	79.4
	自転車荷車税	1,736,120	1,244,790	491,330	71.7
	木材引取税	185,900	93,100	92,800	50.1
	たばこ消費税	7,357,500	7,357,500	0	100.0
	電気ガス税	14,080,472	14,057,883	22,589	99.8
	鉱産税	20,452	18,169	2,283	88.8
合計		155.218.241	129.299.691	25,918,550	83.3
滞納繰越分		22,277,624	4,574,608	17,703,016	20.5
総計		177.495.865	133.874.299	43,621,566	75.4

註 府市民税の調定額は1期～3期分迄を計上し
固定資産税（含都市計画税）の調定額は全期分を計上してあります
尚収入額はすべて12月25日現在を計上してあります

市長東上

天ダム其他要務

池本市長は、新年十二日東上するが、各省を歴訪、天ダム実現、その他重要案件の接衝を行う。

市職員の表彰

◉古島安夫主事（税務課）
十二月二十九日、都市税務行政に功績顕著であつて他の模範とするとして近畿市長会長より表彰をうけた。

◉北川キヨ子主事（戸籍課）
十一月十四日、人口動態調査事務に功績顕著であるとして京都府知事より表彰をうけた。

◉久保田久男主事（調査広報課）
労働力調査に成績優良であつたので十二月二十五日、総理大臣より表彰をうけた。

◈「宇治市政」入選
府広報コンクールに
さきに行われた府下広報紙コンクールに宇治市機関「宇治市政」が佳作に入選、知事の表彰をうけた。

天ヶ瀬ダム工事

天ヶ瀬ダム工事々務所長

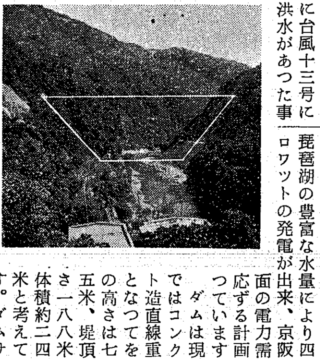
石井文雄

明けましてお目出とうございます。昨年十一月十六日附で前所長藤樫技官の後任として当地へ参りました。今後何かと御世話になる事でしょうが宜しく御願いします。

御承知の様に当市の宇治橋から宇治川を二粁半程さかのぼつた志津川発電所の上流に、建設省の手によつて天ヶ瀬ダムが建設される事になり、数年前から各種の調査をやつて来ました。その結果大凡の見透しがついたので昨年四月から工事事務所が開設され。いよいよ此のダム工事に着手する事になりました。

昭和廿八年九月に台風十三号によつて淀川筋に大洪水があつた事はまだ記憶に新たな事と思いますが、此の記録的な災害を機として淀川治水計画が再検討され、新しい改修計画の元に治水工事が行なはれる事になりました。その一つとして今瀬田川の南郷洗堰の改造工事と河道の浚せつ工事をやつていますが之はゲート操作を現在よりもつとスピードアップし、瀬田川の洪水を流す能力を増し琵琶湖岸の浸水を少なくするものです。第二に宇治川に天ヶ瀬ダムを、木津川に高山ダムを作つて洪水調節を行い、下流々域の洪水被害をなくする事になりました。

天ヶ瀬ダムはその天端が海抜八二米で、洪水期には湖面を七二米に制限しておき、洪水があればその出水前に池の水をすてて水位を五八米迄下げ、二〇・五米の利用水深を以て南郷洗堰から下流々域の洪水を調節し淀川の洪水ピーク時に最も有効に働らかせる。此の間洗堰はゲートをしめて水を落さない様にし、下流淀川の洪水ピークが通過した後は直ちに洗堰のゲートを全開し、縦来よりも琵琶湖面を早く低下させ、その放流水が天ヶ瀬ダムを通じて下流に流れる様に計画されています。



洪水調節の時の最高水位は七八・五米、此の時の湛水面積は一八八町歩で総貯水量は二千六百万立米となつています。

ダムは現在関西電力で運転している大峯発電所を水没させる事になるので、之に代る発電所を天ヶ瀬に関電の手によつて作り、平時貯水池にためられた水を利用して琵琶湖の豊富な水量により四万キロワツトの発電が出来、京阪神方面の電力需要に応ずる計画となつています。

ダムは現計画ではコンクリート造直線重力式となつてをりその高さは七一・五米、堤頂の長さ一八八米、堤体積約二四万立米と考えています。ダムサイトの地質は古生層の砂岩と粘板岩であつて重力式には充分であるが、アーチ式に対しては更に調査を進めた結果でなければ踏み切る事が出来ないものと考えます。アーチ式を採用すれば工事上技術的な困難はあるが、ダム工事費が安くなり工期も短縮出来るのでダムタイプの決定には慎重を期しています。

宇治市は前から観光都市として栄えて来ましたが今度天ヶ瀬ダムが出来る事によつて、此の人工湖がリクリエーションセンターとして果す設割は計り知れないものがあるでしよう。今迄に完成した山間のダムですら観光地としてどんどん発展している様ですから琵琶湖に接して宇治市内に出来る天ヶ瀬貯水池は地元にとつては何物にも換え難い財宝となるでしよう。

地元宇治市の将来に約束された繁栄に反して、人工湖に水没する多数の人々が住みなれた土地を離れなければならない事態があります。こういつた補償の問題については当所でも測量調査を進めていますが、未なに測量にすら応じてもらえない所もありもす。之を解決する根本はやはりもつと〳〵お互に話し合う事だと思います。未知が不安を生みその不安が感情的な反対になつている様な気がします。

宇治市民の皆様も目先の小さい利益にこだはらずに、将来の大発展を夢に心から私達の此の大工事に御協力下さいます様、新しい年の初めに当り切に御願い致します。

（写真は天ヶ瀬のダムサイド）

農業委員会委員
選擧人名簿の縦覧

昭和三十二年十二月一日現在調の宇治市農業委員会委員選挙人名簿を一月二十日から二月三日まで左記の場所に於て縦覧に供しますから必ず縦覧にお越し下さい。

記

一、場所、宇治市役所内
選挙管理委員会
毎日午前九時より午後五時まで

宇治市選挙管理委員会

第三次国有器具の交換払下げ

大蔵省では中小企業の設備改善による合理化をはかるため全国にねむつている、旧陸海軍工処の国有器具、工具を交換の形式で払下げます。

対象は切削工具、砥石、精密測定器具等で新品同様のものです。

払下げ価額は普通財産評価要領によるものより三割五分減価になり中小企業の保有した使用不可能な器具を交換の提供器具として評価し交換差額を負担します。

交換希望者はなるべく早く申請書を府商工課工業係へ提出して下さい　お問合せは市商工観光課へ。

交換の日程

各局における一覧表の公示及び現物見本の供覧
（各財務局所在の旧工廠）
自　昭和三十二年十二月十日
至　昭和三十三年六月三十日

交換申請書の受理
自　昭和三十二年十二月二十日
至　昭和三十三年六月三十日

交換の実行
自　昭和三十三年二月一日
至　昭和三十三年七月三十一日

待望の茶室
「対鳳庵」案内

市内塔の川宇治川左岸に市がつくつた清そな茶室は名も対鳳庵と名付け一般利用に公開されることになつた。

茶室の使用については、宇治市営茶室使用条例により規定され、開設期日は一年中で拝服については三月二十日から十一月三十日迄。拝服は期間中午前十時より午後四時迄何時でも、抹茶一服につきお菓子付五十円で気軽に休憩して下さい。

茶室を専用して茶道の目的に使用するときは、拝服の期間以外に市の許可を得て使用出来る、使用料は午前十時より午後四時迄五百円詳細は市商工観光課へお問合せの事。

お正月を楽しく
市が各施設慰問

市福祉事務所では、旧年末恒例のたすけ合い運動を実施、社協、民生委員、婦人会、町内会等全市の協力で多額の金品を集め、市内要保護家庭二百三十八世帯六百五十四人へ、洩れなく配分したが、市外の各施設へも夫々訪問して見舞金をおくり、明るいお正月をむかえてもらつた。

三十三年度の新入学
住民登録で調査移動
を必ず届出ること

市教育委員会では昨年十二月一日の住民登録簿によつて三十三年度の中小学校入学生の調査を行つた。

調査後の移動について更に一月末再調査をするから住民登録を必ず届出して下さい。

尚入学通知者は二月上旬送付の予定

社教直言

▲「明けましておめでとう御座います」毎年繰返す言葉ではあるが、一向にきゝあきもしなければ、いゝあきもしない不思議に味のある言葉である。ほんの僅かな時間のズレで大晦日と元旦とは見るもの聞くもの、ありとあらゆるものが、新しく全く別のものに感じるのは、お互いの心が清新の気に満ち溢れるからである。そして誰もが「今年こそは」と希望と抱負に燃えるのである。しかしそれが丹念に記入した日記が、日がたつにつれて、だん〳〵ルーズになるように、ついズル〳〵になつて、結局例年と同じことを繰返すのである。お互い新年の気持を一日でも長く持続して、マンネリズムを防止したいものだ。

▲日本復帰を悲願している沖縄島の子供たちは、日本の国旗を全然知らぬそうだ。国旗を風呂敷代りに使つた終戦当時に比べると、最近は大分変つたが、それでも国旗に対する愛着と尊敬の念が低調である。若し日本の子供たちが沖縄の子供のように、国旗を忘れたらどんな結果になるだろう。復古調を鼓吹するものではないが、祝日や国民的な行事には、つとめて国旗を掲揚したいものだ。

▲「古来中国は仏教を印度に学び、明治大正の文化を日本に習い、ソ連の革命に学んだ」と、かの毛沢東主席がいつている。国民的自覚と誇りを失つている人々の、大いに味うべき言葉ではないか。

▲一時青年の間で親しまれたフォークダンスが、だん〳〵下火になつて、社交ダンスが喜ばれているようだ。日本の現状からして、余り支持しかねるが、それはやる人の自由だ。願わくはこれが、桃色事件の温床にならぬよう、自重自戒を切望!!

▲自民党婦人会、総評婦人会、日赤婦人会、農協婦人会、あちらからも、こちらからも地域婦人会に呼びかける。ウツかりズポンサーにふり廻されぬよう、自主性主体性を確立して下さい。

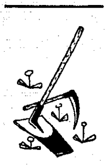
▲生活に対する確たる自覚と指針を持たず、左すべきか、右すべきか、進むべきか、退くべきかも考えず、クラゲのように波のおもむくまゝに、フラ〳〵していては、とても幸福はつかめぬ。「犬も歩けば棒にあたる」いくら戌年でも、そう簡単に棒にあたるものではありません。

いまにし生

農事メモ

ウエットな町造り

普及員から



三年続きの豊作とさわがれた一九五七年も無事過ぎ去つて、新らしい年を迎えられた農家の皆さんは、今年も昨年に比してより以上希望のある一年でありますよう、心に誓われたことゝ存じます。

先ずスタートにおいてはつきりした進路と到達点を見極めることこそ大事なことであります。諺の通り「一年の計は元旦にあり」…で今こそその目標を決める時です。農業経営も小さな一つ一つの技術面の改良にも増して、世界経済の一環であるということを自覚し、作年より以前の実績並びに将来の見透しを各自で考えていたゞき、それを基とした作付体系、販売体系、を樹ていたゞきたい。何はともあれ、しつかりした計画こそ経営改善の「ポイント」ではなかろうか。それには又記録ということが必ずつきまとうものです。今年から皆さんは出来得る程度の経営簿の記入を試みられたらどうでしよう。これは飽くまで共同の立場で進むべきことを意味して、決して各自勝手〳〵な生産、販売計画をせよというものではありません。

次にこれからの町造りは、是非若い人達の力で進めていたゞきたい。

宇治市における4Hクラブ、農事研究会はあちこちにかなりのクラブが結成されていますが、中には消滅寸前の有名無実のものもあります。一方、毎月の行事予定を樹てて着々研究会の開催、部落内における作業の共同化等、活潑な活動によつて、部落民からも注目され感謝されているクラブもあります。「私達は実践を通じて自らを磨くと共に互に力を合せてよりよい農村、よりよい日本を創るため、立派な腕をみがき、科学的な頭を養い、誠実な心を培い、又健康の維持に努力します」…とこの信条を基として、ウエットではあるが、更にフンドシをしめ直して町造りに進んでいたゞきたい。そして又農家の方々もクラブ員の鞭撻と協力を惜しみなく提供していたゞきますことをお願いするものであります。

第三の火が点り、人工衛星の飛翔する現在、たゞ農業のみおくれをとらぬよう、お互が力を合せて明るい住みよい町造りに懸命の努力をしようではありませんか。

（宇治地区農業改良普及事務所）

（写真）尖山地区へ電燈ともる、市長も喜びによい子におみやげ（十二月十八日）

工業統計調査と
中小企業総合基本調査

通商産業省では、十二月末日現在で昭和三十二年十二月末日で工業統計調査を、また全日現在をもつて、今後の有効適切な中小企業対策の樹立のため臨時に、中小企業総合基本調査を実施します。

この調査は何れも統計法に基き申告された調査票は調査の目的以外に使用されたり、徴税の目的などに絶対使用されることがありませんから、該当者は、担当地区の調査員の指導によつて正確に申告されるよう御願いします。

（調査広報課統計係）

一月一日現在で
市民世帯調査

来る一月十三日から一月二十六日まで市政基礎調査のため調査員が各戸を訪問し、家族、勤務先等について調査を行う事になつた。調査用紙の記載などについて本調査のため御協力をお願いする。

テレビ放送と聴視者の心構え

昭和二十八年二月一日、わが国ではじめてテレビ放送が始められた頃は、テレビ受信器が僅かに八百台にすぎなかつた。その年の暮頃社会教育の研究会で、「公民館に人を集めるには、テレビを一台備えつければよい」そんな発言があつたが、今日では全くそうした機能を喪失してしまつた。左表はテレビの年度別登録台数を示すもので、その普及率の如何に大きいかに驚かされるのである。

昭和二十八年二月	八百台
〃二十九年三月	一万六千台
〃三十年〃	五万二千台
〃三十一年〃	三十六万三千台
〃三十二年〃	五十万台突破

これは登録ずみのもので、登録されていないヤミ台数を含めると百万台、十八世帯に一台の割である。

このように普及した現在では、「テレビができてから、うちの子供はどうも勉強しないので困る」と、かこつ声をよく耳にするのである。昨年七月東京都二十三区での、テレビ保有者三九七家庭についての調査によると、テレビを備えてから勉強しなくなつたものが六三、一%、変らないが三六、九%という数字になつている。夕飯がすむと、数人の友達と近隣のテレビ見物に行くのを楽しみにしているわが子の対策に、私自身も相当悩んでいるのである。

又テレビを備えつけた結果、子供の就寝時間が遅くなつたことは左に示すとおりである。

遅くなつた……七〇、九%
変らない……二九、一%

テレビにかじりついて、子供が勉強しない、就寝時間がおそくなる、大人も仕事がはかどらない、その上余りよい影響を与えない。こうした事を自覚しながらも、大衆はテレビに引つけられる。これは何故だろう？ それはテレビが視覚と聴覚の二大感覚を一時に占領しテレビの前に坐つておれば、何の努力もなしに吸収されるからである。流動食が箸もフォークも要らず、しかも咀嚼する面倒もなくて、口をあいておれば喉に流れこむように、放送のすべてが難なく身につくのである。従つてじつくりと落着いて本を読んだり、読んだ後で批判したりすることなどは面倒となり、勢い読書や勉強から遠ざかつていくのである。こゝにテレビの大きな害があるわけである。しかし子供はニュースの殆ど七割をテレビで知ることや、尊い知識を得ていることも見逃してはならない。たゞ遺憾なことに、テレビ放送の場合、ニュースは天気予報を含めて、僅かに全プログラムの九、五%にすぎないのである。ラジオの場合ニュースは一六、六%その他に時事解説とか講演などの教養番組が盛られているのみである。近く六チャンネルを十一チャンネルにふやされ、続々新局が建設されるようであるが、これ等の放送にでき得る限り教養番組を多く加味するよう希望するものである。それと共に一般聴視者は、俗悪とまでは云わなくとも非教育的なものは、なるべく避けるような心構が大切である。民間放送の場合スポンサーは宣伝効果を挙げればよいのであつて、教育的であるか非教育的であるかそんなことは全く意に介さないのである。こゝに聴視者の心構が必要になつてくるわけである。テレビの害毒のみを挙げて、これを排斥することも或面では平和利用に役立つ原子力を、戦争に利用するからとて、その製造禁止を叫ぶのと同じ結果になる。われ／＼は文化の向上にあずかつて力あるテレビの取扱、ダイヤルの廻し方に深甚なる注意を払う一方、テレビの番組が高級なものになるような与論の醸成に努めるべきではなかろうか。

いまにし生

官公ニュース

冬は火事とともにやってくる

といわれていますが、この冬型火災の特長は暖房関係特に、こたつからの火事が圧倒的で昨年(昭和三十一年度)中に全国では、一、五〇〇件の多きに達しています。

次には年末からぐつと増える煙突、かまど、それに取灰からの火災を加えてこれが四大原因といつたところです。

そこで特に多いこたつからの火事防止には、

一、こたつの火は必要以上に多く入れないこと。

二、堀ごたつ、置ごたつなどは火を入れる時に火を落さないように注意すること。

三、こたつ、に留守番さすのは危険である。

四、こたつ、の構造で転倒のおそれがあるものはよくない。

五、こたつ、の上部及び側部から布等の接触、又は垂下を防止する装置のないものはよくない。

六、半乾きのものをこたつの上にかけるのは危険である。

七、堀ごたつに大型練炭を入れるのは最もあぶない。

八、電気ごたつは熱制限器のついているものを使うこと。この場合故障も考えられるのでスイッチの切換は確実にすること

宇治市消防本部

冬の交通心得

◉運転手のみなさんへ

▲寒いからといつて一パイ傾けて車を運転することはやめて下さい。冬はよつぱらい運転による事故が多いのです。

▲交叉点で前方が赤信号のときは左へ曲ることはできません。青信号になるまで待つて下さい。

◉一般家庭のみなさん

▲舗装道路には水をまかないようにして下さい。水が凍ると、人や車が滑つて思わぬ事故が起ります。

▲道路でローラースケートや、野球などして遊ばないようにして下さい。

▲道路に物を置いたり、いつまでも自動車や自転車などを置かないようにして下さい。

▲道を歩くときは、考えごとをしたり、また、あわてたりしないで下さい。あつという間に、とんでもない事故が起きます。

宇治警察署

簡易保険

一石三鳥の貯蓄法

◉預金や貯金は勿論大切であるがいざというときの用意にはこれだけでは不安である。何故なら充分に金がたまるまで何事もなければよいが……事故は前ぶれのないのが常である。

◉ところがここにちよつとした心掛で確実にしかもたやすく二〇万円を貯める方法がある。

◉郵便局の簡易保険を利用すれば

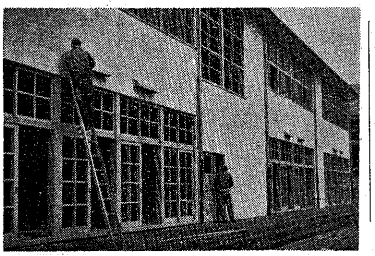
▲満期になれば勿論二〇万円

▲万一途中に事故があつても二〇万円が保証される（特定の事故に対しては倍額の四〇万円）

いわば一石三鳥ともいうべき貯蓄方法である。

なお簡易保険資金の全国公共団体に融資(長期)された件数は三十一年のみで五三九五件（一九種）であるがその内小中学校の建築に二五三三件公営住宅の建設に一五一七件道路橋梁に七八六件簡易水道に五五〇件が主なものである。

宇治郵便局



新校舎竣工式

六日 莵道第二校

新校舎一棟（延一七三、四坪五一九万円）を建築中であつた莵道第二校では年末完成したので六日午前十時から市長、教委、教育関係者が参列して竣工式を行つた。

防火のあいさつ励行
「火の用心」をしておやすみなさい

ポンプ百より

要心が肝心！

天眼壁耳

▲宇治川の消防出初めに行つたついでにふと見ると、十三塔の下に「全世界戦争犠牲慰霊平和塔云々」の杭の有のが目にとまつた。御趣旨に文句をつける訳ではないが、十三塔との混同が感じられ不審に思つた。果せるかな観光期節には先生などがこの平和塔は云々と説明しているそうである。十三塔も広く云えば平和塔に違いないが、少くともこの塔の建立には宇治橋再建にあたつて西大寺の興聖菩薩が造立した厳たる歴史が存している。現に我国鎌倉時代の石造美術としても優秀で、宇治の文化財中屈指のこの塔のそばに更に平和塔を建てるのか、或いはこの棒抗それを云うのか。歴史と伝統を混乱されるこうした立て札一本でも当路者は注意してほしい。

（宇治市 MT生）

▲年末宇治の某館にとまつたが余り良い感じがしなかつた。僕は宇治の朝が好きで昔しは上流の旅館によく出かけたものだ。近いところで静かな気分が味わえる、宇治にもこんな旅館がほしいね（京都某社専務）

▲宇治バスと京阪バスが停留所や時間の提けいをしてから相方共お客が多くなつたように思います。これは便利にさえなれば市民が利用することを証明しています。市民の足は決してよいとは云えません、市内じゆんかん路線など、市の理事者も大いにかんがえて下さい。

（宇治市 一学生）

まなび祭作品

大久保小学校
六年 稲角勝久

はざくらの山をふるわせダム工事
おもしろく友にてきた雪だるま

プラットホーム

大久保小学校
六年 太田スミ子

一列にならんで汽車を待つ、足がたくさんならんでいる。

あしを出したり、横の人とはなしをしたり、さわがしいプラットホーム

お客さんがうしろの方にはなれてにつこりとわらつて見ている。

ポーつときてきが、きこえた。

みんなの体がぐつとうしろにさがつた。

すてられた小犬

莵道小学校
辻 恒雄

キャン、キャン、キャン、という犬の鳴き声がした。僕は、とびでて中を見ると、さむそうにふるえながら小犬がはいつていた。さむいのにかわいそうやなと思いながら、小犬をだいてやつた。小犬もいかにもうれしそうに、僕の顔をなめた。ペロリ、ペロリ「気持が悪い」といつて犬の頭をしばくと、キャンキャンとなつて僕の手からおりた。「すまん、すまん」といいながら又だいてやつた。別そうのちようど上につくと、北風がまつこうにあたつてくる。小犬も、ふるえていたので、用水にはいつた。北風ははいれないので、太陽の光であつたたかい。僕はふとこんな事を想像した。もし、ラジオで放送されてる、コロの物語のような犬だつたらおもしろいのになあ。「おい、ちよつとまてえよ」といつて、かれ草を集めにいつた。帰つてくると小犬はいない。どうしてあがつたのかなあと思つてさがすと、水のはいつていないドカンにはいつていた。この犬かしこいなあと思つた。

大久保小学校
六年 金田康子

私の一ばんすきな、おばあちやん

そのおばあちやんの手が、もうしわだらけになつていてかわいそう。

おせんたく、子もりなどをするから、こんな手になるのかな。おばあちやんにきくと、

「これは、もう年が、いくとだれでも、なるねんや」と、しわだらけの手で、私の手をなぶつた。

家の中でも、おばあちやんが、いちばんすきだ。

宇治映画劇場

二十九日 のこけら落し

宇治橋通りマート横に建築中であつた宇治映画劇場、年末完工したので二十九日盛大なこけら落しを行つた。これで市内の常設館は三館となり、市民の娯楽面に寄与する。

房鋒禅帰

▲「春は曙、やうやう白くなりゆく山ぎは、すこしあかりて、紫だちたる雲のほそくたなびきたる」（枕草子）元朝のすがしさは昔も今もかわらぬ情景である。

▲勅題など云つても、若い世代にはピント来ないらしいが、今年の「雲」には夢があつて良い。宇宙時代を象徴する雲は、それ自身創造家であり永遠の天才である。

▲四日初登庁の池本市長は庁員にあいさつして、天ダム着手、近畿観光圏構想、市庁舎新築等の抱負を語る。その何れもが実現して大宇治市の光彩を放つことをのぞみたい。

▲日展京都最後の日、幸に眼福を得た。毎年宇治風物の二三を散見するのだが、今年は皆無。松元道夫画伯の制多加童子の慧知にかゞやく眼が光つている。印象の無明問題作できびしさはわかるが、うつたえる点にどうであろうか？伯亭の佳人小品であるがさすがである

▲宇治市政三十三年の画布に、はたして人の足をとめさす画をかきうるか、どうも自信はないようである幸に、市民諸兄姉の御指導によつてこの役をはたしたい。（田中広報係長）

今年もラジオ京都で
宇治市政だより
毎週木曜日 午后五時五分放送